

# あいあいあい

I eye 愛

2020年  
10月号



市販品とあいコープ商品を食べ比べ、真剣に味わうプロジェクトメンバー

## 組合員お墨付きの水産品です

理事 藤田 紀子



魚プロ認証マーク

近年は単身、共働き世帯の増加や食の欧米化などの理由で魚離れが進んでいると言われていています。これまで当たり前だった魚を食べること（魚食）が減少傾向にあるのです。

あなたのお家ではどのくらいの頻度で魚が食卓にあがりますか？「魚は骨があって食べにくい」「下ごしらえや後片付けが手間」という声、家庭での調理時間の減少、お惣菜を手軽に買える環境。様々な現状の中、もっと魚の美味しさや魅力を伝えたいという目的で【魚食プロジェクト】（以下、魚プロ）が始まり二年が経ちます。初年度は間宮商店さんと、調味料も吟味した美味しい酒汐干しシリーズを開発。そして昨年度から始まった高橋徳治商店さんとの共同開発品では、原材料が手に入りにくい現実との遭遇。環境問題をも視野に入れながらの活動が進行中です。

この秋、魚プロでは新たな活動を展開します。魚プロメンバーが自信を持っておすすめする商品を「魚プロ認証商品」として定めていきます。

認証基準は「産地」「品質」「美味しさ」の3つ。おいしさをアピールするだけではなく、その理由まで丁寧に掘り下げていきます。今回数ある水産品について検討した結果、「おとうふ揚げ」「甘塩・紅鮭」「紅鮭切身（山漬け）」「唐桑わかめ」「近海マサバふっくら干し」の5商品を「魚プロ認証商品」といたしました。また、まんま通信紙面でも目に留まりやすいマークが付くので今まで以上の信頼を持って商品を選んで頂けると思います。「魚プロ認証商品」がお手元に届いた時、その向こう側に私達【魚プロ】の活動が少しでも見えることを願って。そしてあいコープの水産品がますます愛されますように。

### CONTENTS

- ▶ 学習会報告 ……2
- ▶ 天童のりんごを守ろう！ ……3
- ▶ あいシテル あいコープのたまご ……4-5
- ▶ 地元の生産者のお菓子を食べよう ……6
- ▶ ジョイケアのご案内 ……7
- ▶ 生産者にあいこいこう 栗駒高原 ……8

マサバふっくら干し  
でおなじみ

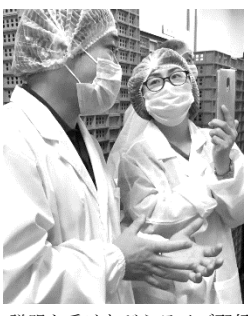
## 間宮商店 オンライン見学会開催

8月19日 魚食プロジェクト主催

新型コロナウイルスの影響で、

気軽に生産者訪問がしづらい状況が続いています。産地直結の生協である私たちあいコープは、生産者を訪問してお話を聞き、内容を理解して美味しく頂くということを繰り返してきました。【魚食プロジェクト】主催で企画を温めていた「間宮商店と塩竈をめぐるバスツアー」も開催を断念。しかしこの歩みを止めないために、インターネットの動画配信サービスを利用した見学会を行い、ツアーで向うはずだった「近海マサバふっくら干し」や「サンマ開き」を製造している塩竈の生産者・間宮商店から動画をお届けしました。

当日は詳細な打ち合わせを経て撮影に臨みました。工場では、冷凍原料を均一に解凍する為の特別なミスト解凍室や乾燥室、出来上がった干物をマイナス40℃で一気に冷凍するトンネルフリーザー



説明を受けながらライブ配信



魚をさばくプロの手元も見られる

などの施設を案内して頂き、従業員さんが見事な手つきでお魚をさばく様子なども動画配信しました。もちろん間宮社長をはじめ、間宮商店の皆さんの分かりやすい解説つきです。魚の新鮮さ、お腹にしっかり脂が乗った原料を使っていることも分かります。実際肌で感じ取る見学会には敵わなくても、自宅で作り手の手元を見ることが、より理解が深まるかもしれません。ぜひご覧ください。

理事 後藤 咲子

当日の配信動画を「ご覧ください」LINE LIVEアプリが必要な場合があります。その場合は案内に従ってインストールして下さい。



視聴はwifi環境がおススメです

## 石けんの成分が有害物質に指定される!?

## PRTR制度って何? 学習会

【PRTR制度】に石けんの成分を有害化学物質として指定しようという動きのある中、そもそもPRTR制度とは何なのか、どう活用すればいいのか、詳しく知るための学習会が9月15日に行われました。Tウオッチ(NPO法人有害化学物質削減ネットワーク)の中部重晴理事長(熊本学園大学社会福祉学部教授)と寺田良一理事(明治大学文学部教授)によるオンライン講演で、理事・地区委員20名が参加しました。

PRTR制度とは2001年から始まった環境汚染物質排出移動登録制度のことで、届け出のあった情報を国が取りまとめファイル化しています。それらをTウオッチでは、市民に分かり易くして公開しており、誰でも見ることが出来るのです(※)。

中地先生には排出量の経年変化データや、排出物の内容(農薬や家庭から出る化学物質が多く、その中には合成洗剤が多く含まれていること)について教えて頂きました。現在指定されている物質と比較しても、環境に優しいはずの石けんの成分が有害物質に指定される可能性には、やはり違和感を覚えます。

データを公表するだけでも削減方向に向かうそうで、例えば排

出す企業に経済的負担を課すような規制に対し、PRTR制度というのは「情報規制」だということを知りました。市民が公表を見て、自主的な行動を起こし有害化学物質を削減できるのもPRTR制度の役割です。

また、寺田先生からはPRTRのデータベースで宮城県の身近な届出事業所が出している有害化学物質の種類と排出量の見方や、仙台パワーステーションについてもどの程度の排出が予測されるか教えて頂きました。データの公表により削減出来たというお話からも分かるように、私たちが知ってどのように行動するかが大切だと改めて感じた講演でした。

理事 佐藤 あきな



日の出町センターを軸に2名の講師と参加者がZoomで繋がった

(※) Tウオッチのサイト <https://toxwatch.net/>



# 組合員の力で「やっぺしりんご」を守り続けよう！ 何よりも「一番の応援は「利用」すること」

天童のりんごが危機に！

8月末理事会にもたらされた「天童で害虫が大発生、ネオニコチノイド系農薬（以下ネオニコ）で追加防除」の一報。すぐさま、組合員へのお知らせが配布されました。組合員の声に応え、ネオニコ不使用のりんごを作り続けて8年目。組合員がオーナーになり支えることで始まった私たちの大切な「やっぺしりんご」の大ピンチ。

9月19日、理事が現地を訪れ、被害状況確認と情報共有をしてみました。天童果実同志会会長の片桐完一さん達に園地を案内されながら、今回大発生した『キンモンホソガ』に食い荒らされたりりんごの葉を目の当たりにし、被害を確認。追加防除の効果で害虫そのものは確認できませんでしたが、「何とかならないかと様々な策を練ったがダメだった」（ネオニコを散布する準備をしながらも、本当にやるのか？と何度も迷った）という生産者の言葉に胸打たれます。気候、病気、害虫：様々なものと闘う生産者の苦勞に報いる唯一の方法は「利用（購入）」です。

理事 鈴木 真奈美



キンモンホソガの幼虫に食べられ、葉が枯れる可能性も高い。光合成できなくなり木が枯れる可能性も



被害の説明をする片桐完一さん（右）片桐道也さん

## 「来年度もチャレンジしたい」生産者からのメッセージ

2012年、組合員さんからの要望を受け、実験圃場を設け、農家にとって「使い勝手が良い、特裁レベルで栽培するには必要不可欠なもの」であるネオニコチノイド系農薬不使用の栽培に挑戦する「やっぺしりんご」の取り組みは、オーナー制度により多数の参加者から応援いただきました。生協の学習活動から発生した組合員の熱い要望が背中を押してくれたのだと思います。

初年度は、それまで使用していたネオニコ系殺虫剤効果の貯金があるため特に問題もなく、全種類脱ネオニコ防除体系に移行しました。今にして思えば、無知の成せる、無謀な取り組みだったと思います。しかし、生協組合員と私たちが共に作り育てた天童果実同志会のりんご、求められる嬉しさ、使命感のような高揚感を感じていたように思います。

5年目、春先からの低温による黒星病（りんごの表面に黒い点が出る、食味に問題はない）が散見されるようになりました。この時はさほどの被害にもなりませんでした。翌年から2年間、低温・降雨により同志会園地に甚大な黒星病被害が。慣行栽培園地においても被害が拡大し、黒星病の特効薬に耐性出現が確認されました。これまで有効とされた農薬が使用できな

くなり、複数の殺菌剤を混用した黒星病予防対策を行うことになりました。黒い点のついた果実は市場規格では商品価値ゼロ。農家にとっては苦しい年になりました。しかし、あいコープ組合員は学び、理解し、訳あり果物として購入してくださいました。産直産地として組合員のご理解に甘えることなく、これからもトライし続けよう！と、勇気と誇らしさを感じていました。

昨年からはキンモンホソガの被害を確認。暖冬、小雪により多くの越冬害虫が生き残り活動するためです。今年7月～8月に爆発的に発生し、今年のりんごのみならず、来季の生産にも影響すると判断し担当職員と協議しネオニコチノイド系農薬である「モスピラン」を使用する苦渋の決断をしました。

地球温暖化の影響で、思いがけない害虫や病気の発生が見られるようになってきました。それらに対応する産地の観察眼と、技術の向上がさらに必要になっていきます。「やっぺしりんご」に皆さんから頂いた思いを無駄にすることがないように、来年度もチャレンジしていきたいと考えております。どうぞご理解とご協力をお願いいたします。

天童果実同志会 片桐 完一



9月19日 生産者と組合員【やっぺしりんご】始まるの圃場で「まだまだやっぺし！」

## 約40年の付き合い 苦楽を共に

8月20日、天童から商品部果物担当に緊急連絡。「害虫のキンモンホソガが異常発生し、このままだとりんごの葉っぱが食い尽くされてしまう！」

翌21日、果物担当が現地に入り、りんごの葉を茶色に埋め尽くすキンモンホソガの大発生を確認。生産者達との緊急対策会議を行い、駆除のための様々な方法について検討を行った結果、りんごの木を守る唯一の方法として、ネオニコチノイド系農薬である「モスピラン」の使用を決断し、あいコープもこれを了承しました。

この決断はこれまで産地とともに取り組んできた商品部職員にとっても、とても苦しく重い決断でした。しかし一番辛く苦しい思いをしているのは他でもなく生産者の皆さんです。若手生産者の一人、片桐雅人さんは「農薬を撒く瞬間まで、本当に撒いてしまうのか？と自問自答しました」と苦悩を語ってくれました。

天童果実同志会とあいコープには40年近い産直の歴史があります。脱ネオニコという、果樹栽培においては最難関の課題に責任を持って取り組み続けてきてくれた同志会。今こそ私たち組合員が責任を持って、美味しいりんごを利用することで生産者を支えていきたいと思います。

あいコープみやぎ商品部長 吉武 悠里

## ◆あいコープみやぎ 自然災害基金報告◆

7月、九州に被害をもたらした「令和2年度豪雨被害」の支援として7月4回～8月4回の間組合員から寄せられたカンパは、総額1,059,000円となりました。9月1日、全額が贈呈先のグリーンコープ共同体・連合会へ送られ、被災地の支援に役立てられています。皆さまのご協力誠にありがとうございました。





# 昔も今も【あいコープ物語】の主人公！ こだわりたまご

『自分たちの商品をもっと多くの人に知ってもらい、利用の輪を広げたい』  
『自慢の商品をより分かりやすく、もっと身近で愛されるものにしたい』と  
プライベートブランド（PB）商品の価値や魅力をみんなで考えて生まれた  
新しいブランド名とロゴデザイン、その名も **あいシテル**  
i-coop original brand

40年前、卵・牛乳・石けんの共同購入で始まったというあいコープ。  
今月は、看板商品の一つとも言える「あいシテルのたまご」をご紹介します。



花たまご 10個パック 258円（税抜き）



たまごかけご飯だけじゃない！  
「PB商品」を原料に生まれる「PB商品」も

卵はご飯のお供だけでなく、菓子など様々な料理に活かされる使いやすい食材です。毎週供給の「花兄園プリン」は、花たまごとパスちゃん牛乳で作られたあいコープ仕様の人気デザート。添加物を使っていない、お母さんの手作りプリンのような優しい味で、臭みのない花たまごの良さが発揮された逸品です。

さらに、PBである花たまごを原料に作られたPBのマヨネーズ。長年親しまれた殻付きヒヨコのイラストのパッケージから、【あいシテル】の新パッケージになりましたが、【花たまご・菜種油・醸造酢・食塩・砂糖・香辛料】というシンプルな内容は変わっていません。1994年に組合員が開発に携わり完成したこの商品、マヨネーズは卵黄のみで作るのが一般的ですが「私たちの花たまごの卵白を使わないなんてもったいない」と全卵を使用。花兄園の卵を余すところなく使っています。卵そのものの利用だけでなく、卵を使用した商品も利用して、生産者を応援したいですね！



パッケージデザインは変わっても中味は同じ



大人気の花兄園プリン  
お好みで添付のカaramelをかけて  
120g×2個 332円（税抜き）



1996年4月のカタログ「共同購入ごあんない」には花兄園の卵3キロ箱と5キロ箱が掲載されている。安全安心な卵を作り続けてもらうために、当時の組合員はまとまった量を購入し、班の組合員同士、あるいは組合員でない知人友人にも分けたりしていたとか。「欲しい」と言う権利を「きっちり買取る」責任を果たして守っていた。



平飼いこめたまご  
6個パック 268円（税抜き）

「花たまご」と並んで【あいシテル】の卵である「平飼いこめたまご」。長年生産してくれていた大郷の西塚さんが生産を終了され、8月に感謝の会を開きました。現在は鶏肉でおなじみ米沢郷牧場と、栗駒高原（PS掲載）を共同産地として「平飼いこめたまご」の供給を続けています。



西塚さんには感謝状を贈呈



米沢郷牧場 伊藤さん



栗駒高原 岩島さん



花たまご生産者の  
大須賀 木さん(左)・裕さん



あいコープで扱う卵を産む宮床鶏舎の鶏たち



「卵は物価の優等生」 安定した価格を守りつつも  
譲らないものは譲らない 生産者のプライド

鶏卵は、たんぱく質やビタミンを摂取できる優れた食品です。しかも長い間市場の小売価格が大幅に変わらず「物価の優等生」と呼ばれます。多くの養鶏場が大型化し、機械化による大量生産によって、価格が安定しています。

あいコープ組合員の多くが利用する「花たまご」の花兄園も卵の選別・パック詰めをするGPセンターを持ち、オートメーション化することで多くの注文にえています。しかし、絶対に譲れないこだわりが「完全無薬」と「ポストハーベストフリー、且つ非遺伝子組み換えの飼料」です。

花兄園の大須賀さんは「親鶏が健康でなければ安全で美味しい卵は産めない」と鶏の健康管理を徹底。抗菌剤や抗酸化剤などを多用する養鶏場も多い中で、ヒナに投与するワクチン以外は一切薬剤を使いません。

「狭いケージに無理やり詰め込んで、密な状態で飼うと病気が蔓延する、それを防ぐために抗生物質を投与する、それが一般的な養鶏です。しかし衛生管理をしっかり行い、環境を整え、飼料にこだわれば鶏に抵抗力がついて病気にかかりにくくなります」と大須賀社長。薬剤に頼るのではなく、**鶏の持つ生命力を十分発揮できる育て方**をすることで、健康な親鶏が育ち、結果として安全でおいしい卵ができるのです。

ポストハーベストフリー（収穫後の農薬不使用）で、遺伝子組み換えされていないトウモロコシを特別に輸入しています。そこに宮城県内産（みどりの農協）の飼料米を20%配合。鶏糞は堆肥となり、再び地域の農地へ戻る「資源の循環」を実現しています。また、国は生産効率を求め、工場のような「ウィンドレス鶏舎」（窓のない閉鎖型断熱構造の鶏舎）を推奨していますが、花たまごを産む鶏たちのいる鶏舎は、自然の光や風が入る**オープン型の鶏舎**です。

ある程度の生産規模を保ちながらも、生産者としての独自のポリシーを貫いた飼育環境を守り続ける花兄園の花たまごは、私たちの宝物です。

## ハンガー・フリー・ワールドを通じて行われた寄付の報告

2月、まんま通信と一緒に配達で届いた大きな封筒を覚えていませんか？特定非営利活動法人ハンガー・フリー・ワールドが毎年行う「書き損じはがき回収キャンペーン」の封筒です。飢餓に直面する地域を支援するため、書き損じはがきや未使用切手をはじめとする換金できるものを募り、取りまとめた換金し必要なところへ寄付するというものです。

参加する全国の31生協の中で、あいコープは封筒



配布に対する返信率が毎年トップクラス。今年は392件、金額にして73万円余りがあいコープ組合員から寄せられたと報告がありました。

個人・団体を合わせたキャンペーン全体の寄付総額は9千8百万円にのぼり、飢餓をなくし自立するための農法指導などの支援や、飢餓を生み出す社会的な構造を変えるための政府への働きかけなど様々な活動に使われます。

## 日の出町センターを会場に 甲状腺エコー検査会開催

9月12・13日の二日間、「放射能問題支援対策室いずみ」主催の甲状腺エコー検査が行われ67名の受診がありました。新型コロナウイルス問題で開催が危ぶまれましたが、対策を徹底した中で行われました。毎年継続して受けている方、今回初めての方もいました。子どもたちのためにも、気軽に検査できる場、医師に相談できる場は、まだまだ継続して必要です。2011年の原発事故当時は感受性の強い子どもだった方も、中学生、高校生になり、待合室の受診者層も変わりました。成長し、なぜこの検査が必要なのか理解できるようになっていきます。こうした検査をきっかけに【原発】の是非について家族で話すきっかけにもなるでしょう。





# 地元の生産者の お菓子を食べてよう

まんま通信のあるくらし

シンプルでおいしいお菓子が食べたい。子どもには安全なお菓子を食べさせたい。  
 手作りお菓子もいいけれど、今日は手間をかけないおやつタイム。  
 あいコープでは、できるだけ添加物に頼らない選りすぐりのお菓子を扱うのはもちろん、  
 『地元生産者』の商品を積極的にラインナップしています。

## コッペ (認定特定非営利活動法人 麦の会 コッペ)



麦の会 代表理事  
飯島 茂さん

仙台市宮城野区にあるコッペは、障がいがある人もない人も同じ仲間として一緒に働いているお店。吟味した原料と手作りにこだわったクッキーを製造しています。

シンプルな美味しさはもちろんのこと、人々の健康や社会の抱える問題にも真摯に向かいながら、一つひとつみんなで手作りにした優しい味のクッキー。お菓子の向こう側に見える、「誰もが暮らしやすい社会を願う気持ち」をどうぞ味わってください。

サクッととした食感と風味に、うっかり何枚も食べてしまいます。



どれも花たまごや国産小麦が美味しさと安心の秘訣

## 井ヶ田製茶㈱ 喜久水庵



代表取締役社長  
井ヶ田 健一さん

仙台の老舗茶舗のお菓子をあいコープ仕様の原料で作った、「お茶の井ヶ田」とあいコープの共同開発商品「花たまごかすていら」・「花たまごかすていら(抹茶)」・「花たまごのどら茶ん(抹茶生クリーム)」も組合員さんから「おいしい!」という声を頂いている人気商品です。人工甘味料を使用せずにあいコープオリジナル仕様にして製造されています。

井ヶ田さんの技術で、ふっくらと焼き上げ、これはとっておきの「抹茶スイーツ」!



## yuzuki (社の都のチーズケーキ工房 yuzuki)



yuzuki代表  
佐藤 博紀さん

仙台市太白区東大野田に工房を構えるチーズケーキ専門店【yuzuki】。添加物の使用を極力抑えた本格的なチーズケーキ作りに取り組んでいます。濃厚な味わいのスティックチーズケーキ、花たまごを使用したふわふわのシフォンケーキは、あいコープの洋菓子ラインナップを「華やか」にしてくれています。

ギフトでも人気のスティックチーズケーキ濃厚だけど後味さっぱり



## 12月から登場予定【みやぎのあられ】

冬のギフトでも取り扱い予定



新たにまんま通信に仲間入りする「みやぎのあられ」は、亶理町にあるあられ屋さんです。自らもち米を育てているほか、宮城県内の契約農家のもち米を使用。あられの生地乾燥は機械ではなく天日で行うなど昔ながらの製法であられ作りを行っています。もちろん、保存料や着色料などの添加物は使用しておりません。

原料も作り手も「地元」を応援するあいコープのお菓子里、今後ともご期待ください。

### 組織概要

(2020年8月分)

【組合員数】	13,645名
【供給高】	222,645千円
【一人実利用高】	5,590円/週
【出資金】	1,180,438千円

2020年9月1日(火)  
 ▼組合員活動における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について決定した▼食肉加工センター建設地及び建設費用について承認した▼生活クラブやまがたとの「たまごの会」設立準備委員会報告を承認した▼NPO法人とうほく食育実践協会とのオンライン料理教室企画について承認した▼香害学習会企画を承認した▼Tウオッチによる地域環境セミナー企画を承認した▼天童果実同志会の産地報告動画作成について承認した▼シャボン玉フォーラムINみやぎ開催時期について確認した。

### 理事会議事録抄



●パスちゃん牛乳とフェアトレードのコーヒーでお母さんがカフェオレを作ってくれた日は1日頑張ります!(宮城野地区/中2男子)

## ジョイケアシステムの「やさえあい」

組合員皆の拠出金で支えられている組合員同士の助け合いの仕組み「ジョイケアシステム」には、組合員が安心して生協活動が行えるように活動中の事故や

時、自己負担分の治療費（自宅内事故を除く。年間限度額5万円）

### やさえあい事由②

災害時の補償を行う「やさえあい」の制度があります。次の事由に該当する場合は事由発生から一週間以内にジョイケア事務局までご連絡下さい。ジョイケアから治療費や損害の補償を給付いたします。

あいコープ活動中に損害を与えた時、保険等との差額分（自己所有物は対象外。年間限度額5万円）

### やさえあい事由③

配達商品の盗難、破損、汚損、動物被害（盗難・動物被害は年3回まで。年間限度額3万円）

詳しくはジョイケア事務局までお問い合わせください。

組合員または同行の家族があいコープ活動中に怪我をした

詳しくはジョイケア事務局までお問い合わせください。

こんな時はジョイケア事務局へご連絡ください。  
0120-50-7277  
9:00~15:00（土日祝日除く）  
▶産地見学に参加した時、同行した子どもが転んで足をくじき、治療を受けた▶組合員交流会に参加した時、会場の備品のコーヒーカップを落として割ってしまった▶ペーパー宅配で荷物を受け取った後、ペーパーを組んでいる組合員の注文品を倒して壊してしまった▶玄関前に届けてもらった商品がカラスに悪戯されて汚損した。



## 私のオススメ商品



私のおすすめは「生ベーコン」です。1歳の子供がいる私にとって一般のハムやベーコンは避けたいものですが、あいコープのハム・ヤソーセージは余計な添加物を使っていないことから、子どもと一

緒に安心して食べています。生ベーコンと言う商品名の通り、賞味期限も短めですが、どうしても食べきれない時は冷凍保存したりしています。このベーコンを食べなれると、市販のベーコンにはもう戻れません。脂の旨味とまろやかな塩味にリピート必至です！このベーコンのおいしさを実感できるのはシンプルに目玉焼きです。小さくカットせず、そのままの大ききで贅沢に玉子と焼き上げるのが我が家の休日朝の楽しみになっています。 事業部 茄子川 大輔

## 編集後記

日々報じられる女川原発問題。女川町議会が事実上再稼働を容認した記事に「リスクと恩恵のはざまに揺れる」という表現がありました。経済的恩恵を受けるために、何も起きないはず！と思考を閉ざしてリスクを受け入れる。自分たちが生きていく間は何も起きませんようにと祈りながら？

未来に、今以上の豊かさ（経済的とはまた違う、幸せや喜び）をもたらす選択をする事が大人の責任です。我が子が、更にもその子が、儲かる仕事や裕福な暮らしとは違う幸せを感じられる時代が来るように、行動するならば、今。

広報担当理事 鈴木 真奈美

## ●機関紙あいあいあいのご意見・ご感想

組合員番号、氏名、電話番号をお書きの上、配送もしくはFAX(022-284-6973)にて、あいコープみやぎ理事会へお送り下さい。

組合員の皆さんの『つがやき』も大募集中！

## ジョイケア NEWS

ジョイケアシステムは、あいコープみやぎ独自の地域福祉政策で、組合員全員の拠出金(100円/月)によって成り立っている助け合いの仕組みです。社会福祉法人「みんなの輪」、NPO法人「お茶っこケア」、ビッグイシューへの支援など、地域福祉にも役立てられています。

個人で利用できるサービス(やさえあい/たすけあい/集団託児/慶弔・出産/電話相談)もあり、組合員同士の助け合いやケアメイトによる集団託児なども多く利用されています。

### ジョイケア利用状況 (2020年8月分)

やさえあい(保障)	0件	◆集団託児	
たすけあい(ケア)	15件	利用延べ人数	4名
集団託児	2件	◆ケア時間	20時間
慶弔・出産	5件		
電話相談窓口	3件		
計	25件		

\*Covid-19の為、活動を制限しています。

## 組合員が利用できる電話相談

お申込み・お問合せは  
ジョイケア事務局へ



0120-50-7277 平日 9:00~15:00

11/10(火)・・・年金相談 社会保険労務士 清野道子氏

13:30~15:30

11/10(火)・・・法律相談 弁護士 倉林千枝子氏

13:30~15:30

11/10(火)・・・傾聴 NPO法人仙台傾聴の会 森山英子氏

10:00~12:00

11/17(火)・・・子ども相談 宮城教育大学教授 菅井裕行氏

10:00~12:00

介護相談(ケアプランセンター-山崎彰子氏)は相談希望日をうかがいます。

▼各相談窓口前週の日曜日までには予約して下さい。随時受け付け可能です。▼予約して頂いた方には、相談日に相談員からお電話を差し上げます。



●とっても甘くてジューシーで美味しくいただきました。今期で終了、とても残念です。おいしいすいかありがとうございました。(今年で大玉すいかの生産を終了した大石田の星川さんご一家への組合員メッセージより)



生産者 さんに **あい** に行こう! ⑳

## 平飼いこめたまごの栗駒高原の巻

### ケージ飼いや経験したからこそわかる 平飼い養鶏の特別さ



宮城の名山のひとつ、栗駒山の麓に位置する、農業組合法人「栗駒高原」。フカフカのもみ殻の床を、翼を広げて自由に走り回る鶏が産んだ卵が「平飼いこめたまご」です。

栗駒高原は生産者の岩島さん一家が運営する養鶏場。昭和22年に埼玉で初代であるおじいさまが始めた養鶏を、形を変えながら続け、適した土地を求めて栗駒へ。当時一般的な養鶏であるケージ飼いや（カゴに入れて効率的に飼う養鶏、鶏は自由に動けない）をしてきた岩島さんに訪れた転機は東日本大震災だったそう。輸入の飼料が届かず飼育が立ち行かなくなり「システム養鶏は脆い」と実感した岩島さんは、地元・宮城の飼料米をはじめとする自家製の飼料を使い、飼育スタイルも変えて鶏たちを広い場所で自由に育てる「平飼い」に舵を切りました。

「ケージ飼いやでも平飼いやでも鶏が産んでくれる大切な卵であることは同じ。でも、ともすれば生き物に向き合うことを忘れ、鶏舎の数で売り上げを勘定するような養鶏より、不測の事態にあっても持続可能で、可能な限り自由でストレスなく育つ鶏と触れ合う養鶏を選んだ」とおっしゃる岩島さん。ついでにむ事のできる床があり、止まり木に登り、自由に砂浴びをする栗駒高原の鶏たちは、今日も卵を産み、岩島さん一家がそれを手作業で洗浄しパック詰めし、【平飼いこめたまご】として組合員に届きます。



給餌の時間、エサ入れに飼料を入れると鶏たちは大騒ぎ!



一つ一つ手作業で卵を拭き上げる



【平飼いこめたまご】は栗駒高原（宮城）・米沢郷（山形）が同じ定義に基づき生産しています



農業組合法人 栗駒高原  
理事 岩島 誠さん

私は、現在の平飼い養鶏を震災後すぐに始めて今年で9年目を迎えますが、それまではケージ飼育の大型養鶏を30年間行っておりました。ですから「どちらが良いか」とは考えません。どちらにも役割があるのだと考えます。

大型養鶏はコストを抑え大量に供給する能力があり、良質のたんぱく質を安定供給することが出来ます。また平飼いやは一羽毎の鶏としての生を全うさせる機能があり、これにより気の充実した卵を生産しお届けすることが出来ます。日々手ごろな価格の卵で家計を助け、定期的に平飼いやの卵を食べて人間の生を整えるという利用の仕方とも良いのではないのでしょうか。両方とも栄養分析内容に大きな違いはありませんが、「生を頂く」食事の根本を考えるとそこにこそ違いがあると感じます。

コロナ禍を生き抜くためにも個々の免疫力は重要であり、そのための食事を意識的に行うことが大切です。是非、「平飼いこめたまご」を定期的に食し気の充実をはかってください。

## Wa!わあ祭り 開催中止

毎年、卸町サンフェスタにて開催されているあいこープみやぎのお祭り「Wa!わあ祭り」は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止とさせていただきます。来年度開催に向け力を蓄え、準備していきましょう。またみんなで盛り上がる日まで、がんばろうあいこープ!



### 「あいこープみやぎファン」

たくさんの「あいこープみやぎ」ファンが、それぞれのあいこープ生活をアップしています。フォローしてくださいね!

※あいこープ公式アカウントではありません



あいこープ大好きな組合員が  
毎日の「おいしい・たのしい・だいすき」を発信中

地区委員さん募集中!  
一定例会見学も受付中

地区委員会は

楽しい!  
おいしい!  
学べる!!

あいこープの仲間だから  
本音トークができます。

お問い合わせ先  
☎ 0120-255-044  
Fax 0120-849-324  
Email [soshiki@mamma.coop](mailto:soshiki@mamma.coop)

(担当: 組織運営室長 豊嶋)

